



音楽の場をつくる、楽しむ— 学生とともに

職員功績者表彰

教育学部 教授

青山 夕夏

あおやま ゆうか

去る11月、教育学部・青山夕夏教授に対し、職員功績者の表彰式が行われました。地域の芸術文化振興への尽力と、香川大学での人材育成や地域貢献に関わる活動が評価の対象となったもので、長尾学長からは、表彰状、記念品が授与され、大学を挙げて今後ますます活動を支援していくなど、これまでの活動実績と成果を称えた祝辞が贈られました。

青山教授は、平成28年度「香川県文化芸術選奨」および「高松市文化奨励賞」を合わせて受賞されています。氏は、東京藝術大学大学院を修了後、ドイツとフランスに留学し、ドイツではオーケストラでも活動される中で、音楽が人々の生活に根ざす様子に接してきました。近年では、中国や韓国などアジア地域でのフルート指導も行い、先の「アジア・フルートコンGRESS神戸2016」の事務局長を務め、アジアにおける音楽の動向、とりわけ演奏レベルの著しい向上にも大きな関心



子ども達にぜひ生の音楽に触れてほしいという思いからコンサートはスタートした。

を向けています。

一方、地方においてはまだまだ音楽が生活の中に根ざしていない現実もあるといいます。「音楽ホールで演奏会を聴いてみたい」と思っても、

たとえば、特別支援学校の子どもたちはその機会を得ることが難しい。これまでも届けられなかった方々にも届けられるように」と考え、それをきっかけに「わくわくコンサート」の活動を開始しました。回を重ね、毎回1000名を超す親子連れが、実際に生の音楽に触れる機会となっています。運営には香川大学の学生たちが中心となつて携わり、音楽を伝える喜びを体験しています。そして、第10回を迎えたこの「わくわくコンサート」は「第

5回ウィーンフィル&サントリー音楽復興祈念賞」の受賞対象となりました。

そのほかにも、高松市美術館の特別展に合わせ開かれるコンサート、香川大学キャンパス内でのコンサート、瀬戸内国際芸術祭2013、2016におけるコンサートなど、さまざまな企画と演奏活動を学生や卒業生、地域とのネットワークも作りながら繰り広げています。

学生時代より「流の先生方と一緒に演奏した仲間たちから得た学びを活かし、後進を育て、活躍する青山教授。多くの人たちが音楽を楽しみ、音楽を通して心が豊かになる場を提供し続けています。



2月には、第10回わくわくコンサートが開催されます。

サンポートホール高松大ホール・2017年2月12日(日)13:00開演(12:30開場)